

至誠館大学

科目名	経営の実際(特講)Ⅱ			コード	
英語表記					
担当教員名	大 蔭 勝 威			年度	平成28年度
基準年次	4年次	開講期	後期	単位数	2
授業形態	講義	授業形式		履修形態	選択
授業概要					
経営危機、M&A(買収・合併)、社長交代 ― など経営問題が新聞に掲らない日はまずない。そこで、企業の直近のニュース(グローバルな観点を重視して選ぶ)を基に、そこから派生する問題を掘り下げて行く。					
到達目標					
『企業30年説』を地で行くように、世界の企業が経営危機 → 倒産に到るケースが後をたたない。「この企業はつぶれない」は神話にすぎないことを、自分の進路を決める上でも肝に銘じてもらいたい。					
授業計画					
第1回	日銀短観を中心に景気の現状を見る				
第2回	コーポレートガバナンス(企業統治)④「形態」				
第3回	コーポレートガバナンス(企業統治)⑤「運用」				
第4回	企業コンプライアンス(法令遵守)				
第5回	世界と日本のM&A(合併・買収)の動向				
第6回	変わる働き方④(労働法制)				
第7回	変わる働き方⑤(女性活用)				
第8回	変わる働き方⑥(非正規雇用)				
第9回	9月中間決算から見た今後の企業業績				
第10回	企業研究①				
第11回	企業研究②				
第12回	企業研究③				
第13回	企業研究④				
第14回	企業研究⑤				
第15回	授業の総括と試験について				
評価方法と基準			評価項目と割合(%)		
出席(授業態度)と試験で50%ずつが基本			出席	授業態度	レポート
				50	
出席試験			期末試験	その他	
			50		
授業外学習			テキスト、教材		
			原則として、毎回A4版一枚にまとめたレジュメ、参考資料の配付を予定している。		
参考書			受講生へのメッセージ		
松下幸之助の著書はいまでもよく経営者によく読まれている。			経済ニュースに敏感になること、毎日、新聞の経済面を読む習慣をつけるだけでも効果はある。		
キーワード					